



淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.13

～淡路駅から下新庄駅間で行われている工事の紹介～



◆淡路駅から下新庄駅間で行われている工事の紹介

今回は、阪急電鉄千里線の淡路駅～下新庄駅間で行われている工事について説明します。

阪急電鉄千里線の淡路駅～下新庄駅間は、事業区間を 1～8 工区に分割した中で 4 工区になります。※1

4 工区では、淡路駅付近が現在の線路の横に高架構造物をつくる「別線(べっせん)工法」、JRおおさか東線(城東貨物線)からJR東海道新幹線の間が、現在の線路の横に仮の線路を設け、それにより空いたスペースに高架構造物をつくる「仮線(かりせん)工法」と、現在の線路の真上に直接高架構造物をつくる「直上(ちよくじょう)工法」を組み合わせる高架構造物をつくっていきます。※2

※1 工区分けや 4 工区の位置については「事業だより Vol.07(H25.02)」を参照してください。

※2 工法については「事業だより Vol.02(H24.01)」を参照してください。

○先行工事が概ね完了し、高架工事が本格化

千里線の東側側道に埋設されていた水道管や電柱等の移設工事(先行工事)が概ね完了し、いよいよ高架工事が本格化します。

高架工事は、JR東海道新幹線付近から順次進めてきており、阪急電鉄千里線の西側には、右の写真(上がJR東海道新幹線付近より撮影、下が鳩ヶ瀬踏切南側より撮影)でも分かるように、大きなコンクリートの柱が立ちあがってきています。

これから千里線東側に高架構造物を建設するスペースを確保するため、仮線への切替えや仮設道路の整備を進めていきます。

工事現場の周辺は、工事の進捗に伴い道路の形態が変わっているところがありますので、注意してご通行ください。

4 工区の現場状況



高架構造物の様子





発行 平成 27 年 3 月

発行者:大阪市建設局

淡路駅付近連続立体交差事業だより

Vol.13

～淡路駅から下新庄駅間で行われている工事の紹介～



◆自転車を利用されている方へのお願い

淡路駅付近連続立体交差事業は、淡路駅・崇禅寺駅・柴島駅・下新庄駅周辺で工事を進めていますが、淡路駅と崇禅寺駅の周辺道路には多くの自転車が放置されています。

自転車が乱雑に放置されると歩行者等の安全な通行が妨げられたり、街の景観が損なわれ、救急活動にも支障が出るなど生活に多大な悪影響を及ぼしています。

○淡路駅周辺の状況

淡路駅周辺は、駅の東西にある商店街付近に多数の自転車が放置されています。自転車駐車場の収用台数を大幅に上回る自転車が駅に集まっているため、自転車駐車場内は大変混雑している状況です。

周辺の崇禅寺駅・下新庄駅・上新庄駅の有料自転車駐車場は、現在空きスペースがありますので、そちらのご利用をお願いします。※3

○崇禅寺駅周辺の状況

崇禅寺駅周辺は、駅東側の遊歩道に多数の自転車が放置されています。駅西側の有料自転車駐車場のご利用をお願いします。

※3 自転車駐車場のご利用は <http://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000002776.html> を参照して下さい。

○自転車を利用されている方へ

大阪市では、阪急電鉄等と協力して放置されている自転車の啓発活動や撤去を継続して行っています。

放置自転車問題を根本的に解決するためには、何よりも自転車を利用されている方の、一人ひとりの自覚やマナーを守る心がけが大切です。

放置自転車をなくし、駅周辺や道路を安全で快適に保つため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

淡路駅周辺の状況



崇禅寺駅周辺の状況



駅まで800メートルであれば歩いて10分程度しかかかりません。余裕をもって歩いていきましょう。